

vol.

Governor's

Monthly Communication

2025.11.01

Rotary International District 2690

2025-26

2025-26年度
国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2025-26年度地区ガバナー 坂口 元昭



橋本興家「松江城」

ロータリー財団月間に寄せて	2
ロータリー財団補助金について	3
ハイライトよねやま!	4
ロータリー財団補助金奨学生ごあいさつ	5
ROTEX(青少年交換学友)ごあいさつ	6
諮問委員会・ガバナー補佐会	8
行事予定表	9
地区だより	9
出席報告	11



ロータリー財団月間に寄せて

地区ガバナー

坂口 元昭



11月は「ロータリー財団月間」です。

ロータリー財団(The Rotary Foundation)は、ロータリアンの志と善意を世界の隅々まで届けるために生まれた、まさに“ロータリーの心”を具現化した存在です。

その理念は、「世界理解、親善、平和の推進」。

この言葉の中に、ロータリーが掲げる奉仕の精神のすべてが凝縮されています。

1917年、アーチ・クランフ国際ロータリー会長が、アトランタ国際大会で「人類に奉仕するための基金をつくろう」と提唱したことが、財団の始まりです。

当初の寄付総額はわずか26ドル50セント。

しかしその種は、世界中のロータリアンの善意によって育まれ、今では毎年数億ドル規模の活動を支える大きな力となりました。

ロータリー財団は、世界で苦しむ人々に希望を届けるための「奉仕の架け橋」です。

奨学金、職業研修、医療支援、識字教育、そしてポリオ根絶——そのすべてに、私たちロータリアンの寄付と行動が生かされています。

特に「ポリオプラス・プログラム」は、ロータリー財団の象徴ともいえる取り組みです。

長年にわたる活動の結果、ポリオの常在国はわずか2か国にまで減り、世界からの根絶が目前に迫っています。これは、世界中のロータリアンが信念を持って続けてきた努力の証です。

奉仕とは、誰かのために自分の時間や力を差し出すこと。寄付とは、その想いを形にすること。ロータリー財団への寄付は「思いやりの循環」を生み、見えないところで多くの人の人生を支えています。

自分のクラブの活動だけでなく、国境や文化を越えて世界に貢献できるのが、ロータリー財団の最大の魅力です。

地区としても、補助金事業(グローバル補助金・地区補助金)を通じて、地域社会に根ざした活動が数多く実現しています。

地元の子どもの学びを支えるプロジェクト、災害復興支援、医療機器の寄贈など、どれも「ロータリーの力」を可視化する取り組みです。

こうした活動は、クラブと財団、そして個々のロータリアンの信頼と協働によって成り立っています。

いま私たちに求められているのは、「継続する力」です。奉仕は一過性の行為ではなく、積み重ねによって価値を増すもの。

財団への寄付や活動を「文化」として根付かせることが、次の世代のロータリアンへの最大の贈り物となります。

“UNITE FOR GOOD – よいことのために手を取りあおう”

どうかこの11月、改めてロータリー財団の意義を心に刻み、それぞれのクラブで、そして一人ひとりの行動で「よいこと」を広げてまいりましょう。

皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

ロータリー財団補助金について

補助金小委員会委員長

大屋 明宏



1917年、当時のロータリー会長アーチ・クランプが、「世界でよいことをするため」の基金の設置を提案しました。最初の寄付は26ドル50セントでした。その後1928年に「ロータリー財団」と命名されました。

ロータリー財団の使命は、「ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。財団はロータリー会員からの自発的な寄付のみによって支えられており、ご寄付はロータリー財団の補助金等となり、助けを必要とする地域社会に役立てられます。

ご寄付先は、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金などに分類されます。このうち年次基金（シェア）は、地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源です。「Every Rotarian, Every Year」の寄付推進活動では、毎年、財団のプログラムや補助金に参加することをロータリー会員にお願いしています。

年次基金（シェア）へのご寄付は、47.5%がWF（国際財団活動資金）へ、47.5%がDDF（地区財団活動資金）へ、5%が管理運営費へ振り分けられます。財団は、地区が参加できる国際的な補助金やプログラムにWFを使用します。一方、地区は地区が選んだ財団プログラムや活動にDDFを配分できます。

財団では、寄付の3年後にDDFをしようできる独自の3年周期システムを採用しています。地区は、この3年間に、十分な時間をかけてプログラムの計画や参加者の選考を行うことができます。例えば、今年度2025-26年度の当地区の地区補助金やグロー

バル補助金、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）等のプログラムは、2022-23年度に当地区から行われた寄付の47.5%を財源に充てられることになっています。

ロータリー財団の補助金には、大きく分けて地区補助金と、グローバル補助金があります。地区補助金は、一括で地区に支払われ、地元や海外のニーズ取り組むために使用できる補助金です。地区は毎年、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動（職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、青少年プログラムなど）を支えるために、使用可能なDDFの50%までを地区補助金として申請できます。

グローバル補助金は、戦略的観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。大規模で国際的な人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金（修士課程または博士課程）のために活用でき、重点分野のいずれかにおいて、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。（ロータリーにおける「持続可能性」とは、「補助金資金がすべて使用された後にも、地域社会の人びとが自力で地元のニーズを満たしていけるよう、長期的な解決策を提供すること」を意味します）

このほか、自然災害に対応するための災害救援補助金、大規模災害補助金も用意されています。

ロータリー会員の皆様のご寄付が財源となって、世界で、地区でよいことをする。この世界共通のシステムが今後も円滑に機能するよう、皆さまからのご寄付と、補助金事業等の実施を積極的にご検討いただけますよう、お願いいたします。

ハイライトよねやま！ (米山記念奨学事業のトピックス)

ロータリー米山記念奨学会
広報委員 森本 信一



本年度は米山奨学会記念事業のハイライトを抜粋して紹介します。

第6世代 米山親善大使が決定！

親善大使候補には29人との応募があり、広報委員会、常務理事会で選考の結果、以下の3人が新たな大使として決定。任期は2025年7月より2年間で、日本全国ロータリー米山記念奨学事業をPRします。



ブーカ・フロレス・
パブロ・マヌエル氏
東京三鷹RC (メキシコ出身)



ガンバト・
トウメンバイヤル氏
名古屋大府RC (モンゴル出身)



カレ・タオ氏
旭川IRC (ベトナム出身)

第2690地区でも地区の行事(クラブ例会も可)にお呼びしてみよう。

ホームカミング制度の活用

米山学友(元米山奨学生)を各地区が毎年選び(2名まで)、地区の行事に招待して地区内のロータリアンへ、その活躍ぶりを披露する制度です。

奨学会本部から助成金が出ます。(海外から招待35万円、国内25万円)

本年度のホームカミング制度は2025年6月～2026年5月末迄です。

第2690地区出身の学友(大勢います)を一度招待してみよう。

2025学年度 奨学生の採用とオリエンテーション開催

2025学年度の奨学生は965人となりました。新規採用者701人、継続者は264人です。国、地域別では、中国40.1%、韓国13.1%、ベトナム13.0%

以下ネパール、インドネシア、マレーシア、モンゴル、台湾 です。

プログラム別では学部429人、修士315人、博士175人、地区・クラブ支援奨学生、海外応募者が46人となっています。

現在各地区でオリエンテーションを実施中！

寄付金速報

2025-26年度最初の月(7月)の寄付金は2億375万。前年同期と比べ4.5%減ですが、2億円未満の年度もあり、今後の寄付額に期待しよう！

昨年度のガバナー月信(5号)で米山記念奨学会事業の基本事項をQ&A形式で解説しました。「いまさら聞けない！」項目もあります。参照ください。また米山記念奨学事業に関してご質問があれば問い合わせください。

第2690地区米山広報員 森本

TEL:090-1857-3650

MAIL: morishin0429@yahoo.co.jp

2025-26年度 ロータリー財団 グローバル補助金奨学生ごあいさつ

猪原 彩美



この度、英国大学院留学にあたりロータリー財団よりご支援を賜ることとなりました、猪原彩美(いはらあみ)と申します。2025年9月より、英国サセックス大学の国際政治経済学修士課程に進学します。高校卒業まで岡山で育ち、その後、約4年間長崎で過ごしました。3月に卒業した長崎大学では、開発経済学や国際政治学を中心に学ぶとともに、核兵器廃絶や国際協力に関する活動に取り組んでおりました。

サセックス大学では、フィリピンの農村社会のレジリエンスについて研究予定です。相互扶助のもとで共に生きる強靱性を持ちながらも、突発的な自然

災害やグローバル経済の変動に脆弱な「農村の小規模農家」に焦点を当て、農村社会の自立的かつ持続可能な発展について考察します。

留学中は、学業にとどまらず、社会貢献活動にも積極的に参加する予定です。多様な文化や価値観を持つ人々との協働を通じて、持続可能な社会づくりや、国際社会・地域社会の課題解決に必要な知見を得たいと思います。この度のご支援やロータリーのネットワークを活かし、学びと実践を通じて成長することで、将来社会に還元できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2025-26年度 ロータリー財団 地区補助金奨学生ごあいさつ

小板橋 有香



慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、テレビ東京にて34年間メディアの現場に携わってきた。シングルマザーとして2人の子育てと仕事の両立に奮闘する中で、女性の社会的地位の低さや、ワークライフバランスが実現しづらい日本社会の構造に強い疑問を抱くようになった。日本の伝統的価値観や同調圧力がこうした問題の根底にあるのではないかと、そして、それを助長しているのがマスメディア自身ではないかという葛藤も感じてきた。

ジャーナリストとして社会問題を取材してきた視点を活かし、社会課題を学問的に掘り下げるため、2025年秋からハワイ大学マノア校社会学修士課程

に進学予定だ。ハワイ大学には平和や紛争解決に関するプログラムも多く、ロータリーが掲げる「平和の推進」や「ジェンダー平等」に通じる学びを深められる環境が整っている。また、米子市出身の亡き父・高塚篤が残した著書『予科練』をハワイ大学図書館に寄贈し、戦時中の異常な同調圧力のもとで特攻隊に志願せざるを得なかった若者達の記録を英訳、社会的観点からの解説を加えて世界に発信したい。

メディアの現場と社会学、異なる視点の交差から社会に根づく偏見や抑圧の構造を問い直し、次世代のためにその負の連鎖を断ち切る糸口を探って行きたい。

ROTEX(青少年交換学友) ごあいさつ

三浦 環季

三浦環季です。わたしは浜田ロータリークラブから、アメリカのミシガン州、6380地区のアナーバーロータリークラブに派遣されました。

ミシガン州は五大湖に囲まれた自然豊かな州で、最大都市はデトロイトです。

生活の面でイベントへの意識の違いが大きく、とても驚きました。クリスマスや11月にあるサンクスギビングというイベントでは家族が全員集まりみんなで食事をしました。

しかし、日本で家族で集まることの多いお正月は、家族中心ではなく友達同士などでパーティーを開くことが多いようで、とても大きな違いでした。私はホストファミリーの友達たちと一緒に年越ししました。

アメリカ留学中は、月に1回以上のボランティア活動に参加することができました。ボランティア活動の内容も、ワールドハンガープロジェクトや、食べ物のサービスプロジェクトなど、発展途上国の飢餓の問題に関係した活動も多く、島根県の高校に通っているときに

は体験したことのない活動ばかりで新鮮でした。

もう一つ、世界各国に友達を作ることにも力を入れました。アメリカ、カナダはもちろんの事、アルゼンチン、コロンビア、フランス、ドイツなど15ヵ国以上の友達を作ることができました。今も世界各国の友達とは連絡を取り合っています。小さな親善大使としての力はまだまだ小さいですが、彼らとの絆は将来も続く大きなものになると感じています。

1番大変だったことは、コミュニケーションでした。始めの頃は、英語が上手く使えない中、文化の違いもあり、意思の疎通が難しかったです。しかし、うまく文法が使えなくてもあきらめずに話し続けることで、だんだん現地の人も打ち解けていき、周りの人たちも助けてくれるようになり、楽しい生活を送ることができました。

このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました!!



ROTEX(青少年交換学友) ごあいさつ

原 若菜

こんにちは、原若菜です。2024-2025年にアメリカのワイオミング州に交換留学生として、一年間留学しました。ワイオミング州は人口が一番少なく、安全な州で地域との繋がりを感ずることができ、すごく素敵な場所でした。留学に行く前には、アメリカで一年間も過ごすことができることがすごく楽しみで、緊張や心配はしていませんでした。しかし、いざ現地に住んでみると自分が思っていることを英語で伝えることがとても難しく、また相手の話すスピードがとても早く、留学生活スタートと同時に挫折してしまうこともありましたが、笑顔で話しかけたり、日本からのお土産を配ったりしてたくさん友達を作ることができて、留学生活がどんどん充実していきました。また、学校のクラブ活動や地域の活動にも積極的に参加し、人々のつながりを大切にする意識をしました。私はその中でも特に、チアとダンスチームに入ったこと

が楽しく、人々との繋がりを感ずることができるものであったと思います。チアでは初めてのことが多く友達やコーチがたくさんサポートをしてくれました。大会出場のため朝練もみんなで協力して挑むことができました。留学中に日本にいたら気づくことの出来なかったことを気づくことができました。例えば、避難訓練です。日本では主に災害に備えて訓練を学校でしてきました。しかし、アメリカの現地の学校では銃乱射に備えて訓練をしていました。初めはとても混乱しましたが、このような日常生活の中で、文化の違いを見つけることができる喜びを見出すことができました。このような貴重な経験をさせてくれて、サポートしてくれた全ての方々に感謝を忘れずに、これから私にできるロータリーへの貢献をしていきたいです。ありがとうございました。



2025-26年度 国際ロータリー第2690地区 第2回 諮問委員会

日付:2025年10月4日(土) 11:30~12:40

会場:米子コンベンションセンター 第5会議室

司会:地区副代表幹事 田中 貴之

1. 開会
2. 配付資料の確認
3. 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 坂口 元昭
4. 出席者紹介 地区ガバナー 坂口 元昭
5. 報告事項 地区代表幹事 坂本 高司
 - ① 2024-25年度地区会計報告
 - ② 信任状委員会・選挙管理委員会・大会決議委員会について
 - ③ 地区指導者育成・新会員合同セミナーについて
 - ④ 地区大会について
 - ⑤ 地区世界社会奉仕委員会の報告
 - ⑥ 世界ポリオデー・フォトコンテストへの参加につ

- いて
- ⑦ 2026年台北国際大会への参加について
- ⑧ 2025-26年度地区行事予定について
- ⑨ 2025-26国際ロータリー役員および地区委員会組織図について
- ⑩ その他
6. 地区ロータリー財団事務所より
7. 金谷晋爾地区ガバナーエレクト事務所より
8. 次回開催日の確認
2025年12月20日(土)15:00~16:30
場所:倉敷アイビースクエア
9. 閉会

2025-26年度 国際ロータリー第2690地区 第2回 ガバナー補佐会

日付:2025年10月4日(土) 10:30~11:20

会場:米子コンベンションセンター 第6会議室

司会:地区副代表幹事 長谷川 義明

1. 開会 司会 地区副代表幹事 長谷川 義明
2. 配付資料の確認
3. 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 坂口 元昭
4. 地区ガバナーエレクトあいさつ 地区ガバナーエレクト 金谷 晋爾
5. 地区ガバナーノミニーあいさつ 地区ガバナーノミニー 高山 真司
6. 地区ラーニングファシリテーター 地区ラーニングファシリテーター
あいさつ 庄司 尚史
7. 議題 地区代表幹事 坂本 高司
 - ・地区大会信任状委員会・選挙管理委員会・大会決議委員会について
 - ・地区指導者育成・新会員合同セミナーについて
 - ・地区大会について

- ・IMの進捗状況について担当ガバナー補佐より報告
- ・世界ポリオデー・フォトコンテストへの参加について
- ・2026年台北世界大会への参加について
- ・2025-26年度地区行事予定について
- ・2025-26年度国際ロータリー役員および地区委員会組織図について
- ・クラブサポートミーティングについて
- ・新会員セミナーへの参加について
- 8. 次回開催日の確認
2026年1月25日(日) 15:00~16:00
オンライン開催予定
- 9. 閉会

年間行事表

年	月	日	行 事	場 所	時 間
2025	11	8(土)	第2回地区青少年交換委員会	ANAクラウンプラザホテル	13:00～16:00
			青少年交換派遣学生選考会・保護者説明会		
			島根県インターアクト指導者講習会	松江テルサ	
		15(土)	第1回次期ガバナー補佐会	倉敷国際ホテル	16:00～20:00
		17(月)	ロータリー財団地域セミナー		
		18(火)	第2回ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー(GELS #2)	パシフィコ横浜 横浜ベイホテル東急他	
			ガバナーノミニ・ラーニング・セミナー(GNLS #1)		
			メジャードナー午餐会		
			第2回ガバナー会議		
			RI会長ご夫妻・TRF感知委員長ご夫妻歓迎晩餐会		
		19(水)～20(木)	第54回ロータリー研究会		
			鳥取県インターアクト指導者講習会		
			ロータリーの友委員会合同会議・地区代表委員会議		
		23(日)	岡山県インターアクト指導者講習会	おかやま西川原プラザ	
		29(土)	第3回地区青少年交換委員会	ANAクラウンプラザホテル米子	13:00～16:00
			第1回青少年交換派遣学生オリエンテーション		
	12		次期米山委員長セミナー		
		7(日)	第15回全国青少年交換委員長会議	AP日本橋	
		20(土)	補助金小委員会	倉敷アイビースクエア	
			次期クラブR財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー		13:00～14:00
			第3回諮問委員会		15:00～16:30
			金谷晋爾地区ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会・懇親会		16:50～19:00
		21(日)	第2回次期ガバナー補佐会	倉敷アイビースクエア	9:00～11:00
			第4回地区リーダー向けセミナー(危機管理)	AP日本橋	
2026	1	10(土)	ロータリー米山記念奨学生選考委員オリエンテーション	ANAクラウンプラザホテル米子	18:30～20:30
		11(日)	ロータリー米山記念奨学生選考会	ANAクラウンプラザホテル米子	9:00～18:00
		11(日)～15(木)	国際協議会(金谷晋爾G E出席)		
		18(日)	第10・第11グループIM	岡山コンベンションセンター	14:00～
			第10回全国地区ローターアクト委員長・地区ローターアクト代表合同会議	AP東京八重洲	
		24(土)	臨時クラブインターアクト委員長会議	米子市文化ホール	14:00～16:00
		25(日)	第4回諮問委員会	オンライン	13:30～14:30
			第3回ガバナー補佐会		15:00～16:00
			ローターアクト地区国際交流行事		

地区だより(2025年9月)

新会員のご紹介

諸寄英久
鳥取中央RC川口尚子
鳥取中央RC清水谷善暁
米子RC高原秀樹
米子RC道野まどか
米子南RC頼田剛
米子南RC井上明
米子南RC米山純司
米子南RC祇園崇広
米子南RC天野茂樹
出雲RC吉川辰也
江津RC増野樹盛
益田RC澤田優也
倉敷RC梶村浩介
津山中央RC濱慎吾
備前RC尾島恒夫
岡山北西RC三宅真衣
岡山北西RC大森陽子
岡山中央RC金田好正
岡山南RC池上潤次
岡山西RC大西晶子
岡山西RC下田俊之
岡山西RC

ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー(年次基金への寄付)

 7 錦織正二 出雲南RC	 6 勝部径司 出雲南RC	 2 曾田和弘 出雲南RC	 1 園山優樹 出雲南RC	 1 山根浩之 出雲南RC	 1 吉田智彦 出雲南RC	 9 菅田茂 津山RC	 1 菅田拓平 津山RC	 3 笹井茂樹 津山RC	 1 高橋拓己 津山RC
 1 武本哲郎 津山RC	 1 田邊久人 津山RC	 1 鳥越俊之 津山RC	 6 馬場茂 津山RC	 1 水島大 津山RC	 1 本山紘司 津山RC	 3 吉田縉史 津山RC	 10 北村三郎 津山西RC	 2 山下正憲 津山西RC	 18 大岩道典 岡山南RC
 4 井上元 岡山岡南RC	 1 守時泉 岡山岡南RC	 2 中村有作 岡山岡南RC							

ポール・ハリス・フェロー(ポリオプラスへの寄付)

 7 遠藤堯之 倉敷東RC	 2 小西英昭 岡山旭川RC
--	---

ポリオプラス・ソサエティ登録者

松江RC	山根 睦
松江RC	大関 雄資
松江RC	角戸 達広
倉敷東RC	遠藤 堯之
津山RC	森本 信一

クラブ年次基金

出雲RC	11.00ドル (新会員寄付)
笠岡RC	168.82ドル (ミリオンダラーミール)
笠岡東RC	136.05ドル (ゴルフ同好会寄付)
笠岡東RC	201.63ドル (ミリオンダラーミール)
岡山RC	1416.12ドル (ミリオンダラーミール他)

クラブポリオプラス

出雲南RC	272.11ドル (ミリオンダラーミール)
笠岡東RC	180.41ドル
倉敷東RC	273.47ドル (ミリオンダラーミール)
倉敷南RC	195.91ドル (ミリオンダラーミール)
岡山旭川RC	177.69ドル

米山記念奨学会への寄付

米山功労者

 38 岩崎陽一 鳥取西RC	 1 橘信吾 岡山中央RC	 1 小林豊 岡山中央RC	 1 友宗法道 岡山中央RC
--	---	---	--

クラブ普通寄付

鳥取西RC	127,500円
平田RC	95,000円
井原RC	90,000円
玉野RC	70,000円
岡山備南RC	52,500円

クラブ特別寄付

鳥取RC	19,360円 (米山ランチ)
出雲RC	2,500円 (新会員寄付)
出雲南RC	40,000円 (米山ランチ)
笠岡東RC	26,520円 (米山ランチ)
笠岡東RC	20,000円 (ゴルフ同好会寄付)



謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



西嶋一泰
鳥取RC
ご逝去日/2025年9月4日
享年/65
入会日/2024年9月5日

出席報告 (2025年9月)

クラブ名		ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	9月末日	内女性会員	増減
第1グループ	智 頭	96.30	4	7	7	0	0
	倉 吉	69.75	3	39	41	3	2
	倉 吉 中 央	61.11	3	18	18	2	0
	倉 吉 東	68.15	3	48	48	5	0
	鳥 取	66.67	2	55	56	4	1
	鳥 取 中 央	64.29	2	40	42	3	
	鳥 取 北	69.75	3	41	42	6	1
	鳥 取 西	74.36	3	51	52	3	1
	小計（8）	-	-	299	306	26	7
第2グループ	境 港	64.93	3	48	49	1	1
	米 子	65.71	2	69	71	5	2
	米 子 中 央	65.22	2	37	38	2	1
	米 子 東	63.52	3	109	110	12	1
	米 子 南	69.07	3	70	78	7	8
	小計（5）	-	-	333	346	27	13
第3グループ	松 江	75.32	3	55	58	1	3
	衛星クラブ	45.00	2	10	10	5	0
	松 江 東	80.27	3	51	51	3	0
	松 江 南	76.92	2	63	65	6	2
	松江しんじ湖	77.92	2	40	43	9	3
	隠 岐 西 郷	80.95	3	22	22	0	0
	小計（5）	-	-	241	249	24	8
第4グループ	平 田	84.55	3	38	37	2	▲1
	出 雲	78.05	3	55	56	2	1
	出 雲 中 央	77.55	3	48	49	3	1
	出 雲 南	72.53	3	77	80	6	3
	大 社	60.54	3	53	52	5	▲1
	小計（5）	-	-	271	274	18	3
第5グループ	江 津	68.75	4	42	46	3	4
	浜 田	70.83	4	59	60	5	1
	益 田	58.73	3	21	21	2	0
	益 田 西	70.83	3	33	32	2	▲1
	大 田	75.36	3	23	23	3	0
	小計（5）	-	-	178	182	15	4
第6グループ	井 原	76.38	4	35	36	1	1
	笠 岡	88.04	4	47	47	3	0
	笠 岡 東	87.58	4	39	39	2	0
	新 見	69.44	2	18	18	2	0
	総 社	66.67	2	12	12	2	0
	総社吉備路	80.56	4	28	27	1	▲1
	高 梁	80.95	3	34	35	1	1
	玉 島	76.24	4	28	30	6	2
小計（8）	-	-	241	244	18	3	

クラブ名		ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	9月末日	内女性会員	増減
第7グループ	児 島	77.27	2	12	12	0	0
	児 島 東	92.59	3	9	9	0	0
	倉 敷	84.58	3	71	74	2	3
	倉 敷 中 央	73.33	3	18	18	6	0
	倉 敷 東	80.88	3	24	24	4	0
	倉 敷 南	64.47	3	59	59	4	0
	倉 敷 水 島	59.26	2	17	17	0	0
	倉敷瀬戸内	66.67	3	22	22	1	0
小計（8）		-	-	232	235	17	3
第8グループ	真 庭	76.52	4	32	33	2	1
	美 作	66.67	3	25	24	1	▲1
	津 山	53.08	4	96	97	4	1
	津 山 中 央	100.00	2	12	13	3	1
	津 山 西	74.44	3	32	32	5	0
	小計（5）	-	-	197	199	15	2
第9グループ	備 前	69.81	3	38	39	4	1
	岡 山	77.33	4	107	117	7	10
	岡 山 東	81.84	4	96	97	2	1
	岡 山 北 西	72.50	4	48	50	5	2
	岡山後楽園	71.43	3	50	51	4	1
	小計（5）	-	-	339	354	22	15
第10グループ	岡 山 旭 川	58.27	4	33	32	1	▲1
	岡 山 中 央	60.40	4	24	27	8	3
	岡 山 北	60.78	4	51	51	4	0
	岡 山 南	67.18	3	152	153	22	1
	玉 野	63.22	3	24	29	2	5
	小計（5）	-	-	284	292	37	8
第11グループ	岡 山 備 南	75.00	2	21	21	0	0
	岡 山 城	78.33	3	20	20	1	0
	岡 山 岡 南	85.71	3	23	23	2	0
	岡山丸の内	73.84	4	43	43	3	0
	岡 山 西	72.14	3	64	70	13	6
	岡 山 西 南	84.05	3	55	55	7	0
	小計（6）	-	-	226	232	26	6

地区クラブ内の状況

クラブ数	65RC
2025 年 7 月 1 日会員数	2841名
2025 年 9 月末日会員数	2913名
内 女性会員	245名
純増	72名

※7月1日会員数には、7月1日入会の新会員は含まれておりません。
 ※7月1日入会の新会員は、7月末日会員数に含めさせていただきました。
 ご了承をお願いいたします。